

もやればよかつたに■カツケダンスにデツキダンス随分よい取組だ■九日の全員茶話會は奮つたれ■腹顔山人の舞踏も絶倒させたが、オトツサンの口上も上手だれ■活動寫眞の説明者にしたら吃度大喝采■何でも淺草の奥山に十年も修業したのだそう
な■M、T君の『薩摩琵琶』は正に是れ天下一品■H、M君の京阪辯の講釋もよかつた■T先生とH、T嬢との『對話』は何かと思つて片唾を飲んだよ■あまり眞面目なので少し驚いたれ■閉會當日オトツサンと洗濯屋サンとが羽織を召しての御出席は物堅い■ナアニ寫眞を撮るので一寸メカシたのさ■他でもオメカシした人もあつた様だ■別れの茶話會も面白かつたが僕は悲しくなつた■『動物園』は吉例だそうだがアレは實に不思議だ■H、O君の『アノ驚きやうつたらなかつた』■M、K君の『仕方話』はキザな身振だれ■T先生の『巡禮』は舶來だらう■M先生の『即席寫生』は御手際なものだつた■以上、見聞子、よしこの生、目鏡の人、M、M、M生其他無名氏の投書及會員の直話抜粹

(編者)

そめこ集 (出雲崎)

■『水彩畫夏期講習場』この立札を學校の門に見た時はいよく明日からとゾクゾクした■戶外寫生は振つたものだれ見給へ一生懸命だ■三脚代用とあつて油紙を敷いてゐるのは奇抜だらう■澁紙もあるよ、■跣足になつて下駄に腰かけてゐるのもあるさ■下駄や石はマダよいよ思ひ切つたのは地面の上へドツカと

座つてゐる■一つの繪具箱を二人で使つてゐるれ■筆洗の二人共用もあるさ■大阪製のチューブ入を一々押出しては筆の先へつけゐる氣の永い人もある■多分日の永い國で生れたのだらう■パレットなしで立派な繪を描き上る技倆は實に感心だらう■繪具の話を書いて見ると僕等の持つてゐるのは皆ダメだ■實は僕もモット繪が旨いのだが繪具が悪いかられ■中には雌黃のつもりで染彩を使つて繪を眞黄色にして仕舞つた人も居た■其人のパレットも眞黄色だつた■草鞋ばきて毎日通つて來る熱心家も居たれ■何でも二里からあるとの事だ■大きな根つけの着いた昔風の煙草入を腰に下げてゐる人も居たれ■自製三脚の圓い檜の棒を太鼓の撥と間違られてアナタは役者かれときかれた人も居る■あまり優さ男でもないのにれ■役者らしい髪の毛をわけたハイカラさんもあつたよ■三角堂は不思議なものだ、何でも三角家根から天井から疊迄三角だ■ナセ窓も三角にしなかつたのだらう■兎に角この主人はヒネクレものだれ■腐さつたり干枯びた梨も出來たが紙製の南瓜もあつた■ブリキ製の書物もあつたさ■茶話會の餘興を一人で引受けた勇士があつたが遠慮深い人が多かつたので振はなかつたれ■クロモチ、シロモチの合戦はよかつた■シ、メ／＼と申けりとは何かれ■進め／＼と申けりさわからない男だな(完)

*

*

*

*

*

*

*